

朴 一教授略歴・著作目録

朴 一 教授 略 歴

< 履 歴 書 >

1956年4月25日 兵庫県尼崎市に生まれる

学 歴

尼崎市立大島小学校，尼崎市立大庄北中学校，兵庫県立尼崎西高等学校を経て

1976年，同志社大学商学部入学（1980年3月卒業）

1980年4月 同志社大学大学院商学研究科前期課程入学（1982年3月修了）

1982年4月 同志社大学大学院商学研究科後期課程入学（1988年3月修了）

職 歴

1988年4月～1990年9月 立正大学経済学部専任講師

1990年10月～1992年3月 大阪市立大学経済学部専任講師

1992年4月～2000年3月 大阪市立大学経済学部助教授

1995年10月～1996年3月 名古屋大学大学院国際開発研究科客員研究員（講師）

1997年4月～1997年12月 韓国高麗大学重細重問題研究所にて在外研究

2000年4月～2002年3月 大阪市立大学経済学部教授

2002年4月～2022年3月 大阪市立大学大学院経済学研究科教授

2015年4月～現在 大阪大学大学院公共政策研究科招聘教授

非常勤講師

龍谷大学経済学部，同志社大学商学部，同志社大学経済学部，大阪大学文学部，富山大学教育学部，甲南女子大学文学部，神戸外国語大学，大阪産業大学大学院経済学研究科，関西学院大学経済学部，立正大学経済学部，三重大学教育学部，大阪教育大学教育学部，甲南大学経済学部，滋慶医療科学大学大学院，同志社大学大学院グローバル・スタディーズ研究科

学会活動

国際学会

- ・国際高麗学会日本支部会長（2006～2010年）

日本の学会

- ・現代韓国・朝鮮学会理事（2008～2018年）
- ・北東アジア学会理事（2010～2020年）
- ・アジア政経学会理事（2002～2004年）
- ・日本平和学会理事（1995～1996年）
- ・日韓国際学術学会会長（2022～現在）

社会活動：審議会委員，各種団体職員など

- ・大韓民国平和統一会議諮問委員会委員（2013～現在）

- ・韓国大使館諮問委員会委員 (2020年)
- ・在日韓国居留民団中央本部直選委員 (2003年5月～現在)
- ・在日韓人歴史資料館理事 (2004年～現在)
- ・大阪コリアタウン歴史資料館理事 (現在)
- ・伊丹市在日外国人教育基本方針策定委員 (1993年)
- ・大阪市外国籍住民有識者会議委員 (1994～2007年)
- ・大阪国際平和センター研究運営委員 (2001～2005年)
- ・神戸市人権懇話会委員 (1993年)
- ・尼崎市人権教育・啓発推進懇話会委員 (現在)
- ・トヨタ財団選考委員 (2002年)
- ・近畿産業信用組合コンプライアンス委員会委員 (2006年)
- ・富士火災コンプライアンス委員会委員 (2008年)
- ・国会参議院「国際問題に関する調査会」参考人 (2005年3月2日)

社会貢献：テレビ出演 (レギュラー, 準レギュラー出演のみ)

1. 「諸口あきらのイブニングレーダー」1995～2005年
2. 「おはよう道場洋三です」(朝日放送ラジオ) 1998～2006年
3. 「関西ラジオワイド」(NHK 大阪放送局) 2000年～現在
4. 「経済コロンプス」(テレビ大阪) 2002年
5. 「関西ニュース一番」(NHK 大阪放送局) 2004～2005年
6. 「そこまで言って委員会」(読売テレビ) 2004年～現在
7. 「サンデージャポン」(TBS テレビ) 2005～2008年
8. 「テレビタックル」(テレビ朝日) 2005～2010年
9. 「はやみみラジオ」(MBS ラジオ) 2006～2008年
10. 「たかじんの非常事態宣言」2008年
11. 「ニュースレーダー」(MBS ラジオ) 2008～2009年
12. 「種蒔きジャーナル」(MBS ラジオ) 2009～2010年
13. 「関西情報ネット ten」(読売テレビ) 2013年～現在
14. 「正義のミカタ」(朝日放送) 2014年～現在
15. 「胸一杯サミット」(関西テレビ) 2018年～2021年
16. 「ゴゴスマ」(CBC テレビ) 2018年～現在

新聞・雑誌連載

- 「Eメール時評」(『朝日新聞』朝刊全国版) 2000年～2001年
「アジア観察」『論座』(朝日新聞社) 2018年～2005年
「往復書簡」(『朝日新聞』夕刊全国版) 2007年10月～11月

●受賞

- ・大韓民国国務総理表彰 (2012年10月)

朴 一教授 著作目録

著書：単著

- ・『韓国 NIES 化の苦悩～経済開発と民主化のジレンマ』同文館，1992 年（250 頁，5 刷）
- ・『在日という生き方』講談社メチエ，1999 年（262 頁，10 刷）
- ・『재일한국인』범우，2005 年，（271 頁，韓国語）
- ・『在日コリアンってなんでんねん』講談社+ α 新書，2005 年（220 頁，4 刷）
- ・『朝鮮半島を見る眼～親日と反日，親米と反米の構図』藤原書店（297 頁）
- ・『僕たちのヒーローはみんな在日だった』講談社，2011 年（220 頁，7 刷）
- ・『日本人と韓国人のタマエとホンネ』講談社，2012 年（206 頁）
- ・『越境する在日コリアン～日韓の狭間で生きる人々』明石書店，2014 年（269 頁）
- ・『한국인과 일본인의 허세와 속내』제이앤씨，2014 年（205 頁，韓国語）
- ・『僕たちのヒーローはみんな在日だった（文庫増補版）』講談社+ α 文庫，2016 年（253 頁，7 刷）
- ・『在日マネー戦争』講談社+ α 文庫，2017 年（235 頁，2 刷）
- ・『20 世紀東アジアのポリティカルエコノミー』晃洋書房，2019 年（229 頁）

著書：編著

- ・『アジア NIES』世界思想社，1994 年
- ・『転換期のアジア経済を学ぶために』世界思想社，2000 年
- ・『変貌する韓国経済』世界思想社，2004 年
- ・『在日コリアンの歴史』明石書店，2006 年（韓国語版，図書出版 역사넷，2007 年）
- ・『在日コリアン辞典』明石書店，2010 年（韓国語版，図書出版 선인，2012 年）

著書：共著

- ・『韓国経済の分析』日本評論社，1988 年
- ・『世界経済と南北問題』ミネルヴァ書房，1990 年
- ・『韓国の経済開発と労使関係』法政大学出版会，1991 年
- ・『20 世紀末の諸相』八千代出版，1993 年
- ・『世界システムの現代的構造』日本評論社，1994 年
- ・『アジア発展のカオス』勁草書房，1997 年
- ・『アジアの経済的達成』東洋経済新報社，2000 年
- ・『21 世紀システムと日本企業』日本経済新聞社，2000 年
- ・『ニッポンは面白いのか』講談社メチエ，2002 年
- ・『都市失業問題への挑戦』法律文化社，2003 年

- ・『歴史のなかの在日』藤原書店, 2005年
- ・『在並共同体与共同文化似知』, 人民出版社, 2007年(北京, 中国語)
- ・『韓国の経済発展と在日韓国企業人の役割』岩波書店, 2010年(同韓国語版, 図書出版, 말글빛냄, ソウル, 2010年)
- ・『日本・アジア・グローバリゼーション』日本経済評論社, 2011年
- ・『在日コリアンの経済活動』不二出版, 2012年
- ・『日韓関係史 1965～2015年: 経済Ⅱ』東大出版会, 2015年(同韓国語版, 역사공간, 2015年)

●主な学術論文(単著)

- ・「NICs 資本主義分析の新射程」『経済評論』第36巻第3号, 1987年
- ・「東アジアの工業化と国内資本」立正大学『経済学季報』第38巻第4号, 1989年
- ・「韓国の工業化と支配三者体制」『経済評論』第39巻第4号, 1990年
- ・「日本のアジア援助に関する一考察～戦後補償との関連で～」『経済学雑誌』第95巻第3・4号, 1994年
- ・「東アジア共生の方法論」『世界』岩波書店, 1996年9月号
- ・「植民地工業化ヲ診ル視点」『韓国学研究』(高麗大学韓国学研究所)第9号, 1997年
- ・「雪解けに向かう日韓文化摩擦」『論座』43号, 朝日新聞社, 1998年
- ・「DJノミクスは韓国を救えるか」『論座』46号, 朝日新聞社, 1999年
- ・「韓国経済の危機と構造改革の葛藤」『社会科学研究』(東京大学社会科学研究所)第51巻第4号, 2000年
- ・「21世紀の日韓関係と戦後処理問題」『戦争と平和』(大阪国際平和センター)第10号, 2001年
- ・「ポストコロニアリズムとしての開発独裁」『ポストコロニアリズム』作品社, 2001年
- ・「日朝平壤宣言の意義について考える」『法律時報』(74巻12号)2002年11月号
- ・「自治体の外国人労働者受け入れ・雇用対策に関する一考察～群馬県大泉町における日系人労働者施策から」『経済学雑誌』(大阪市立大学)第103巻第2号, 2002年
- ・「多国間協議で米朝衝突は回避できるか」『論座』97号, 朝日新聞社, 2003年
- ・「北朝鮮に対する経済制裁は正しい選択か」『論座』107号, 朝日新聞社, 2004年
- ・「在日外国人の人権課題と地方自治体」『NIRA 政策研究』第18巻第5号, 2005年
- ・「泥沼の日韓関係修復のために」『論座』121号, 朝日新聞社, 2005年
- ・“Japan Too Must Deal with the Past” *JAPAN ECHO*, August, 2005
- ・「東アジア共同体ト歴史ノ壁」『環東海レビュー』第2巻第2号, 2006年
- ・「日韓, 日朝関係の現在」『経済学雑誌』第108巻第4号, 2008年
- ・「재일 한인의 아이덴티티와 새로운 삶의 모색」『일본 한인의 역사』국사편찬위원회, 2009年

(韓国語)

- 「在日コリアンによる初期本国投資の実態, その光と影」『経済研究』(大東文化大学) 第 23 号, 2010 年
- 「太陽政策期における北朝鮮の政治経済システムの変化と連続性～開城工業団地と 7・1 経済管理改善措置を中心に～」『経済学雑誌』第 111 巻第 1 号, 2010 年
- 「北朝鮮による延坪島砲撃事件の深層」『環』44 号, 2011 年
- 「米中の狭間で生きる日本外交の課題」『環』52 号, 藤原書店, 2013 年
- 「戦後大阪における韓人マーケットの形成と民族金融機関の役割～大阪の事例研究～」
- 『コリアンスタディーズ』第 2 号, 2014 年
- 「在日コリアンから視た朝鮮戦争」『アジア研究』第 61 巻第 2 号, 2015 年
- 「慰安婦問題をめぐって迷走する日韓関係」『コリアンスタディーズ』第 3 号, 2015 年
- 「地域研究者として(加藤弘之)『中国経済入門』をどう読むか」『アジア研究』第 63 巻第 2 号, 2017 年
- 「徴用工問題をめぐる日韓の葛藤～徴用工問題への日韓の対応を中心に」『コリアンスタディーズ』第 8 号, 2020 年
- 「在日コリアン研究 40 年を振り返って」『コリアンスタディーズ』第 9 号, 2021 年
- 「(書評論文) 松浦正伸『北朝鮮帰国事業の政治学』」『アジア研究』第 69 巻第 1 号, 2023 年